

なみき

理念

愛をもって誠を尽くす

- 1.相手の立場・心情を尊重し、最善の方法を継続して提供する。
- 2.自らの行動に責任を持ち、職務心得に則り絶えず評価・反省を怠らない。



「自己検脈をするということ」

並木病院 医師 稲垣 将文



自己検脈とは自分自身で脈をみることです。

機械を使い、記録にとどめることが可能な方法、携帯型心電計やアップルウォッチ等での脈拍のチェックもあります。

この意義は高齢者に増えてくる不整脈に心房細動がありますが、動悸等の自覚症状で異常を感じることもあるが、症状はなく、健康診断で指摘される方も珍しくはありません。

心房細動の原因となる疾患に甲状腺機能等の内分泌異常や高血圧による心負荷の増大や心臓弁膜症があります。日常生活習慣で喫煙、飲酒やストレスから起こることもあります。

原因を排除することが一番の予防になることは疑いありませんが加齢によるとしか言いようのない事例もあり普段のスクリーニングをして自己検脈を習慣づけるとよいと思われます。

携帯型心電計やスマートウォッチを活用すれば医師に相談しやすいのですが、自身の指で反対側の手首で脈をみれば、なんととってもコストがかからないメリットがあります。

クリニックに「脈を触れてみてリズム不整を感じる」と受診し、お話しされれば、心電図やホルター心電図でしっかり診断をつけてもらえます。

心房細動の大きな問題は脳梗塞の原因となることであり、心房細動のない方と比較するとその発症頻度は5倍になるといわれています。それを予防する内服薬もワーファリンしかなかった時代はその導入に一週間以上かかることが普通であり、二か月に一回程度血液検査をうけて有効域かどうか、過量になっていないかをチェックしなければなりません。また、食事に関してもビタミンKを多く含む食品、一般には身体によいといわれている納豆やクロレラはとらないことを徹底する必要がありました。ワーファリン管理中の方が何らかの手術が必要になれば、その周術期の管理は非常に労力を要しました。現在のDOAC (Direct Oral Anti Coagulants) は、大規模臨床試験で効果は実証され、個人個人の内服量も同量処方でもよく、出血性の副作用も少なくなっており、採血チェックも頻回に行う必要はありません。また、食品に関しても制限はほぼありません。

手術的なことを厭わなければ左心耳を切除することやなんらかの器具で閉塞させたり、アブレーションで肺静脈口を焼灼したりすることで完治すれば抗凝固療法を受ける必要がなくなることも可能になっています。

検脈を行うことで元気な生活を続けてゆきましょう。

並木病院は地域の発展を応援しています。

10月26日(土)に 第2回 並木病院 健康感謝祭を 開催しました。

地域の皆様や患者様、ご家族の方々と交流を図り、ご来場される方にご自身の健康や医療に対する関心を深めて頂きたいとの思いから、昨年初めて開催した感謝祭の第2回を、10月に開催しました。昨年に引き続き、地域の方や患者様のご家族様、関連施設の利用者様等、沢山の方にご来場頂き、とても賑やかなイベントとなりました。



今回、特に反響が大きかったのは、『病院見学ツアー』です。普段は御覧頂けない検査室や厨房、特殊浴槽など、院内設備についてじっくり時間をかけてご案内しました。特にレントゲン室では、ボールペンやスマートフォンをX線テレビ装置にて透視したり、浴室では、実際に機械浴を動かしてみたりと、大人も子供も楽しめるよう工夫を凝らしました。また、リハビリ室

では『脳トレ』と『オーラルフレイル（口腔機能の衰え）』の二つの講演を複数回開催し、実演も取り入れた充実の内容で、参加された方にご満足頂けた様子でした。栄養・調理コーナーでは、清涼飲料水に含まれている砂糖を展示したり、塩分濃度の違うお味噌汁の試食をして頂いたり

と、昨年とは違ったコンテンツを楽しんで頂きました。キッズコーナーでは、キャラクターや海の生き物等のおもちゃを水に浮かべた『おもちゃつり』が人気で、目を輝かせながらポイを持つ子供たちの姿がとても可愛らしかったです。写真撮影コーナーでは、病衣や白衣を着た小さいお医者さん、看護師さんたちが、色とりどりの風船に囲まれながら、ポーズをきめて撮影を楽しんで頂きました。



第2回の感謝祭を開催するにあたり、ご協力頂いた方々、ご来場頂いた皆様、改めて御礼申し上げます。これからも、皆様のご期待に応えられるようなイベントとなるよう、努めて参ります。今後も感謝祭を開催の際は、是非ご来場頂けます様、職員一同、お待ちしております。



第2回

QC活動発表会 開催の報告



QC活動とは、病院で働くスタッフが「医療の質・安全・サービスを（Quality）向上していく（Control）業務改善活動」の事です。

昨年に引き続き、QC活動の取り組みを掲示する発表会を開催しました。今年は、昨年より3チーム増え、15チーム15題の発表がありました。第1回を経て、職員がQC活動に関心を持ち、活動の意義を感じたことが、参加チーム増加に繋がったように思います。職員で投票を行った結果、2階病棟「アクティビティケア・チーム」、テーマ「薬を使わない認知症ケア～みんなで作る療養環境編～」が金賞を受賞しました。

今回の発表会をゴールにすることなく、活動を通して改善してきたことを継続し、さらに改善を重ねていくことが重要です。今後も小さな事からコツコツと、医療の質・安全・サービスを向上させる改善活動に取り組んでまいります。

各チームの取り組みと結果は下記の通りです。



題名	チーム名	部署
『薬を使わない認知症ケア ～みんなでつくる療養環境編～』	アクティビティケア・チーム	2階病棟
『身体拘束最小化チーム立ち上げ』	身体拘束ゼロの執行人チーム	身体拘束最小化チーム
『「いつも同じ」と言われ続けてN回目』	栄養士は辛いよ	栄養科
『小さな改善、大きな成果♪』	2階病棟 病棟改善チーム	2階病棟
『セル看護の中での業務改善について』	チームサークル	4階病棟
『作業療法士の新たな挑戦 療養病棟OTチーム始動しました!!』	業務改善を考える会	リハビリテーション科
『これがあれば!院内検査が不安なく実施できる!』	外来ナミキノミチシルベ	外来
『地域連携部レターケース設置で負担軽減と効率化』	入退院調整隊“ちい8”	地域連携部
『放射線科の現状と課題』	劇的ビフォーアフター	放射線科
『ナースコール対応の動線の短縮化を目指して!!』	早く駆けつけ隊	3階病棟
『返却薬の実態と再利用におけるルール作り』	Team節約	薬剤部
『「5階だより」発行します! 職場環境作りの一助として』	大石あずさ2号	5階病棟
『丸札の乗せ間違い!!減少に向けて取り組んだ活動報告』	Time!ぱふおーまん'S	調理課
『患者の生活を考える環境整備隊』	みんなが環境整備隊	5階病棟
『漏水ストップ!バルブの見える化を実現!』	水のトラブル救急隊	総務課

金賞

銀賞

銅賞

外来診療

R7.1.1時点。変更する場合がありますので、お問い合わせください。

		月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ~ 12:00	内科	内科	内科	内科	内科	内科
		循環器内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	脳神経内科	
	専門外来 9:00~12:00				循環器内科	頭痛外来	
午後	1:00 ~ 5:00	内科	内科	内科	内科	内科	
		脳神経内科		脳神経内科	呼吸器内科	脳神経内科	
	専門外来 1:00~5:00	物忘れ外来				物忘れ外来	

※専門外来は、予約制です。お気軽にお電話ください。

職員募集

看護師、介護スタッフ募集中!

採用サイト公開中 下記より閲覧ください。



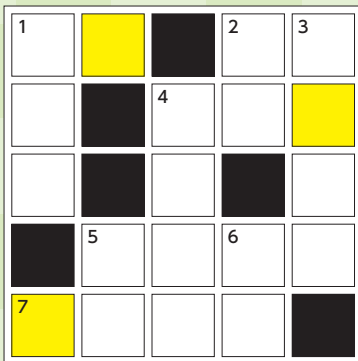
明るく
楽しい
職場です

医療法人並木会 総合採用サイト
<https://recruit.namiki.or.jp/>



クロスワード

脳トレ



黄色い枠の言葉でできるものは何?(ヒント:台所)

タテ

1. 医者や看護師などがよく着ている
2. 兄弟の息子
3. 血液をろ過する臓器
4. 身体や機械が壊れたりすること
5. 先生を尊敬し教えを受けること
6. 金属製の丸い打楽器

ヨコ

1. 物を入れるための器
2. 父母の兄弟
4. お金の一種
5. 文字を書いて表現する
7. 表通りでない道

※解答は裏ページにあります。

アクセス



交通のご案内

- 公共交通機関でお越しの場合
地下鉄鶴舞線、平針駅または赤池駅より徒歩10分



医療法人 並木会

並木病院

TEL(052)848-2000 FAX(052)848-2020

〒468-0013 名古屋市天白区荒池二丁目1101番地

■ケアプランセンター平針なみき TEL (052) 848-2067

■ヘルパーステーション平針なみき TEL (052) 848-2048

■訪問看護ステーション平針なみき TEL (052) 848-2063

介護老人保健施設

■メディコ阿久比 TEL (0569) 48-1156

■メディコ春日井 TEL (0568) 88-6000

■メディコ守山 TEL (052) 736-5585

■メディコ平針 TEL (052) 802-0023

特別養護老人ホームもありますのでご相談ください。

ホームページ:<https://www.namiki.or.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。



環境に配慮してベジタブルインク
を使用しています。